



CIC Tokyo で TOYOHASHI AGRI MEETUP を PR しました

豊橋市は、「未来の農をつくる」と題し、農業イノベーション創出を目指すプロジェクト「TOYOHASHI AGRI MEETUP (豊橋アグリミートアップ)」を実施し、日本一「農業系スタートアップがサービス開発しやすく、応援されるまち」となることを目指しています。

この取組みを首都圏でもPRするため、8月下旬から、今年度のアグリテックコンテストの応募締切となる10月20日にかけて、主催イベントを開催するほか、イベントでの登壇やPRを行う予定です。

今回、豊橋市が入居するCIC Tokyoで開催された自治体リバースピッチに、昨年(R6.8.30)に続き本市が2回目の登壇をしました。この自治体リバースピッチは、CIC Tokyoで活動する13の地方自治体が、地域課題やスタートアップ関連の施策・事業についてプレゼンと展示を行うもので、スタートアップや事業会社などから約165名の参加がありました。

■概要

1. 名称 自治体リバースピッチ -夏、地域が動き出す-
Municipalities' Pitch powered by CIC
2. 日時 令和7年8月29日(金) 17:30~20:30
3. 参加自治体 (13自治体)
茨城県、愛知県、宇都宮市、浜松市、東京都、壬生町、福岡県、栃木市、群馬県、豊橋市、静岡県、京都市、神戸市
4. 主催 CIC Tokyo、CIC Institute
5. 会場 CIC Tokyo(東京都港区虎ノ門 1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー15階)
6. 本市登壇者 地域イノベーション推進室 主事 喜多 亮介
7. PR概要 農家との共創により、輝翠株式会社がオフロード自律走行AIロボットを商品化・シェアリングサービスを開始した事例(R7.8.21報道発表)等を紹介しながら、農家、スタートアップ、事業会社、行政が一緒に汗をかきながら成果を生み出していることをPRしました。

■当日のようす



集合写真



本市職員の発表のようす



展示ブースでのPR

裏面につづく

【参考】

◇ R6 年度首都圏での P R 活動の実績

- ・ 首都圏のイベント等で情報交換（個別打合せ）を行ったスタートアップからも応募していただき、R6 年度アグリテックコンテストへの応募は過去最多となる 69 件でした。
- ・ また、R6 年度に行った TOYOHASHI AGRI MEETUP 交流会には 4 社が登壇し、本市農業関係者との繋がりを深めています。

◇ CIC Tokyo

- ・ CIC Tokyo は、虎ノ門ヒルズビジネスタワーの 15 階と 16 階に計 6,000 平米を有する、快適なシェアオフィススペースと、世界に繋がるイノベーションの発信地です。現在の入居企業は 350 社以上、イベントは Venture Café 主催のものや入居者限定のものも含め年間 400 を超えます。
- ・ スタートアップのグローバルでの成長を支えていくとともに、世界中のイノベーター・投資家・企業が高密度に集うイノベーション・コミュニティを創出することで、単なる「オフィススペース」ではなく、有望なスタートアップ企業が必要な時に必要なサポートを受けることができ、次々とイノベーションが起きていく環境を目指しています。

◇ CIC Institute

- ・ CIC Institute とは、イノベーションエコシステム構築や、スタートアップ特にディープテック関連スタートアップの支援における知見を活かし、政府や地方自治体、大学などと連携しグローバルに成功を収めることのできるスタートアップの成長支援や、エコシステム構築業務を担うチームです。
- ・ CIC Institute は現在、多くの行政機関や大学関係のプロジェクトを遂行しており、エコシステムの発展やイノベーションを通じた経済発展に貢献をしています。今後も、自治体等の行政機関や民間企業からの高まる需要に合わせ、より多くのプロジェクトを 実行し、CIC Tokyo を含む CIC 全体と緊密に連携しイノベーション創出を促進する部門として活動していきます。

問合先 地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 51-3155）